

課題の設定

【活動のねらい】

生徒の興味・関心に基づいた自由研究のための課題を設定することにより、主体的に学ぶ態度を身に付ける。

【活動内容】

- 1 実社会、実生活の中から生徒が自由に課題を設定する。
- 2 現状（今の状態）と理想（あるべき状態）とのギャップから課題を設定する。

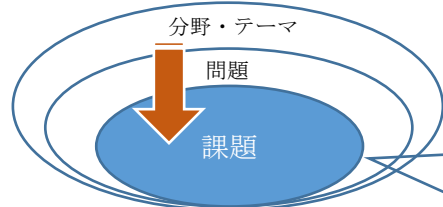
【取組の概要】

○ 取組の大まかな流れ

- ①グループで分野・テーマ及び問題を決める。
- ②課題について現状（今の状態）と理想（あるべき姿）を比較しブレインストーミングする。
- ③グループで出た意見をKJ法で分類・整理する。
- ④各自で興味をもった小テーマを選んで探究班をつくる。
- ⑤探究班ごとに現状を把握するために調査・情報収集を行う。
- ⑥ジグソー活動で⑤の内容を交換・統合し、具体的な課題と仮説を設定する。
- ⑦仮説が検証できるよう、実践計画を立案する。

⑤～⑦の手順を繰り返し、深い課題設定につなげる。

○ 課題設定の考え方



（例）分野・テーマ：環境
問題：地球温暖化
課題：人間以外の温暖化の原因

- ・課題設定の初期段階では、取り組むべき分野やテーマを設定する程度に考え、情報収集を重ね、視野を広げ、問題意識の高まりとともに、解決すべき課題を明確にする。
- ・現在と過去で比較したり、国や地域間の違いに着目したりしながら、現状と理想とのギャップから課題を検討する。

○ 課題の設定の評価・評価規準の例

A 複雑な問題の状況を踏まえて適切な課題設定ができている。仮説を立て、その検証方法を明示した計画を立案できる。

B 問題の状況の中から課題を発見し、課題設定できている。課題解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。

C 課題は設定されているが問題意識が個人的であり、課題解決の方法に見通しが無い。

【活動の留意点】

- 教師が研究テーマを設定した課題研究では、高いレベルの研究成果が目標となるが、生徒の興味・関心に基づいた自由研究では、生徒に学び方を学ばせることが目標となる。
- 研究は生徒に任せて、教師はアドバイザーに徹するようにし、教師は生徒を見守る意識をもつことが大切である。